詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

11月

令和8年(2026年)第44週　2026年10月26日(月)～2026年11月1日(日)

熊本市　感染症発生動向調査　速報

11月は　薬剤耐性（AMR）対策推進月間

特定の種類の抗菌薬や抗ウイルス薬等の抗微生物剤が効きにくくなる、又は効かなくなることを、「薬剤耐性（AMR）」と言います。薬剤耐性を得た細菌「薬剤耐性菌」が増えると抗菌薬が効かなくなることから、これまでは、感染、発症しても適切に治療すれば軽症で回復できた感染症の治療が難しくなって重症化しやすくなり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

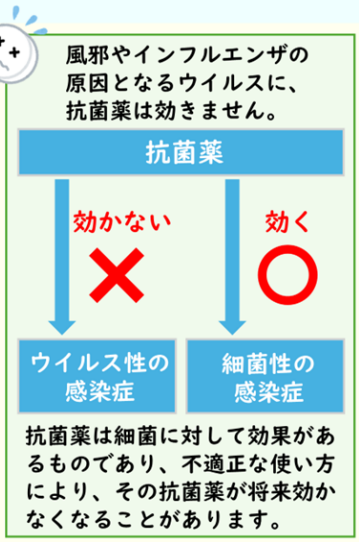
～薬剤耐性の拡大を防ぐために大切なこと～

感染予防

感染症にかからないようにし、抗菌薬を必要とする機会を少なくすることが重要です。感染を予防するために、日ごろから正しい手洗いや手指消毒、咳エチケットなどを行いましょう。ワクチンで予防できる細菌感染症もあります。また、生活や食事、休養などに配慮して、健康に気をつけることも大切です。

抗菌薬の適切な使用

医師から処方された薬を、症状が軽くなったからといって途中で止めてしまったり、勝手に量や回数を変更したことはありませんか？特に抗菌薬については、こうした不適切な使い方をすると新たな耐性菌が出現するリスクが高まります。医師の指示どおり、適切な量を適切な期間、服用するようにしましょう。



参考資料：政府広報オンライン「抗菌薬が効かない「薬剤耐性（AMR）」が拡大！　一人ひとりができることは？」をもとに作成（https://www.gov-online.go.jp/article/201611/entry-10538.html）

定点種別	疾患名	状況	43週(10/19～10/25)		44週(10/26～11/1)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症（ARI）	インフルエンザ	－	195	8.48	178	7.74
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		2	0.09	4	0.17
	急性呼吸器感染症(ARI)		1208	52.52	1061	46.13
小児科	RSウイルス感染症		11	0.79	8	0.57
	咽頭結膜熱(プール熱)	－	0	0.00	1	0.07
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	－	14	1.00	13	0.93
	感染性胃腸炎	－	34	2.43	39	2.79
	水痘(みずぼうそう)	－	5	0.36	3	0.21
	手足口病	－	14	1.00	6	0.43
	伝染性紅斑(りんご病)	－	1	0.07	0	0.00
	突発性発しん		4	0.29	6	0.43
	ヘルパンギーナ	－	15	1.07	22	1.57
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	－	1	0.07	2	0.14
眼科	急性出血性結膜炎	－	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	－	5	1.00	5	1.00
基幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
	マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○：警報レベル　△：注意報レベル　－：警報・注意報レベルなし